

## 会 議 録

会議名称	第4回伊達市庁舎整備検討委員会		
議 題	(1) 庁舎視察研修の結果報告 (2) 前回の振り返り (3) 庁舎整備にあたり伊達市が抱える懸案事項		
開催日時	令和6年11月21日（木）午後4時30分～午後5時30分		
場 所	伊達市役所3階第2、3会議室		
出席者	委員：10名（欠席：4名）		
	所管部課名	総務部総務課	
公開 非公開 の 別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開	傍聴者の人数	0人
	<input type="checkbox"/> 非公開	非公開の理由	

**【会議録】**

**1 開 会**

事務局より、委員の過半数以上の出席により会議が成立していることを報告。

**2 議 事**

**委員長：**配付された資料と順番が異なるが、まずは前回の振り返りから事務局より説明願いたい。

**事務局：**令和5年11月28日に市長から庁舎整備検討委員会委員長へ提出されました諮問書について第1回、第2回の審議を行いまして、諮問事項(1)の「庁舎の整備方法について」は、長期的な視点から考えると改修ではなく建て替えるべきとして、令和6年3月21日に委員長から市長に中間答申を提出していただいたところです。

そして近年の物価高騰に伴う建築コスト増により、建設にあたっての実際のスケジュールについては社会状況や、市の財政状況を考慮しながらになりますが、コスト削減や規模を抑えるなどのほか、委員の方からのご意見にもありました稼げる庁舎等の手法についても検討に非常に時間を要しますことから、市民向けのワークショップ開催及び委員会にて基本構想策定にむけての議論をすすめていきたいと考えましたため、5月20日に第3回目の委員会を開催させていただき、ザックリとはありますが、主に「新庁舎に求められる機能」、「新庁舎の建設場所」について意見を伺いました。

前回の委員会で委員の皆様から、地域情報の発信拠点、使いやすい庁舎、働きやすい庁舎、集約化か分散化かの建設手法などについて様々な意見をいただいたほか、庁舎の建設場所について「新たにまとまった土地を確保することが困難」との事務局側説明に概ね理解が得られたところです。

**委員長：**前回の振り返りについて何か付け加えたい点、ご意見・質疑等ありますでしょうか。

～質疑等なし～

それでは、次のページに進みまして、伊達市が庁舎整備の検討をするにあたって現在の懸案事項等について事務局より説明願います。

**事務局：**これまで、庁舎整備をどうするのかというところから議論が始まりまして、建て替えるべきとの中間答申をいただき、では建て替えるならどんな庁舎にしていくのかということで広く意見をいただきました。

これまで市で策定しようとしていました基本構想にあたっては、先ほど説明したとおり

ワークショップを開催しながらすすめていくことを想定していましたが、庁舎整備の検討を始めた当初より建設費が高騰している現状もあり、建設スケジュールの見通しが立たない実情にあります。

このことから、皆様からいただいた貴重なご意見を一度集約させていただき、今年度内の最終答申をいただきます。

今後は、市が設立した内部組織にて財政的な課題や、建設の手法についての協議を深め、その協議結果を踏まえまして、形は変わってしまうかもしれませんが、また改めてご意見をうかがう場を設けたいと考えております。

**委員長：**このような経緯がありましたことから、当初の進行の順番を変更させていただきました。

当初、委員会では基本構想含めて議論するという流れで動いていましたが、建築資材が非常に高騰し各市役所・役場の庁舎建設がとん挫しているといった情報もありますことから、焦って進める状況ではないとご理解いただければと思います。

今年度は、諮問事項について答申でお答えするため、「求められる機能」と「庁舎整備に関すること」の2項目について意見を伺わせていただくこととなります。

委員の方全員参加できたわけではありませんが、先日行った庁舎視察研修の結果について事務局でまとめた説明と参加された方のお話を伺って、先ほどの2項目について、より議論をさせていただき、意見出し尽くしたところで答申内容として最後までまとめるという形でおすすめさせていただきます。

では、事務局より「庁舎視察研修の結果報告」について説明願います。

**事務局：**今回、旭川市・深川市・富良野市の3か所を視察させていただきましたが、いずれの庁舎も市民の交流・コミュニケーション機能、地域情報の発信拠点としての機能、防災拠点としての機能を主たるコンセプトにあげており、庁舎視察の際における説明時間もその点に多く時間をいただくかたちとなりました。

～以下、資料を基に特長や視察参加職員が記憶に強く残った点を説明～

**委員長：**研修に参加された委員の方で補足や感想等ありますでしょうか。

**委員A：**所感になりますが、コンセントの高さ一つとっても車いすの方に配慮していたり本当に細かいところまで意見を聞いたりして整備していました。

**委員長：**設計のときの話になってしまいますが、確かに多目的トイレの手摺も、右側・左側どちらのマヒなのかによって利用しやすい位置が変わることまで配慮されているなど、ユニバーサルデザインの考えがあらゆるところに取り入れられていましたね。

**委員B：**それぞれ自分たちのまちの魅力を庁舎の中に取り入れている様子が見受けられたほか、来庁された方が自分の用事はどこでできるのか把握しやすいよう見やすい表示を心掛けていたりしたのが印象的でした。

**委員長：**旭川市と深川市は庁舎機能のみでしたが、富良野市の庁舎は文化会館と複合することで地域にある人的資源等を有効活用するといった手法を取られていました。

そういったことを踏まえて、では伊達市は「複合施設にするのか、シンプルに庁舎機能のみの施設にするのか」といったことについてもせっかくの機会のため、委員の皆様からもご意見を伺えればと思っています。

**委員C：**深川市の庁舎で得たエネルギーを市民に還元する発想などは良いと思いました。

**委員 B**：それぞれの市や市民性にあった庁舎のつくり方をしているので、そこは伊達市なりの考え方になると思いますが、いいもの全部盛り込もうとすると費用もかかるので必要なものを線引きして取り込んでいく必要があると思います。

**委員 D**：今回視察した先で共通していることは、「市民も利用できるものにしていこう」ということですが、規模の大きさもありますが伊達の状況を考えたとき、すでにコミュニティ施設等もあるので全部を取り入れる必要はないのではないかと思います。また、今回の視察先では省エネということで地中熱利用を取り入れているようですが、費用対効果もしっかり検証していく必要があると思います。

**委員 E**：お子さん等も利用できる場所を作るのは素晴らしい考えですが、すべて庁舎に盛り込むことはできませんので、しっかり目的等を整理していけば、おのずと既存施設の住み分けもできて本当に必要な機能を選別することができるのではないのでしょうか。

**委員 F**：人の集まる場所や総合案内の空間が広く開放的に作られていると感じたほか、庁舎や担当窓口の配色も非常に工夫されているだけではなく、太陽光発電の電力を一部市民に開放するといった取り組みで来庁者が来る仕組みが考えられているなどと思いました。

**委員 G**：三市ともコンセプトに市民が利用しやすいと掲げているとおおり、広々として使いやすいだろうなという印象はあります。ただ、今回視察した先は、コロナ前後に建設を始めていることから、現在の DX 化で市民が窓口に来なくても手続きができるという取り組みへ変化していることも考慮して進めていく必要があると感じました。

**委員 H**：視察先いずれの庁舎も天井が高く来庁したとき快適だと思いますが、情報コーナーの在り方には誰を対象にどんな目的としているのか一部疑問を感じる点がありました。また、「市民に親しまれる、利用しやすい、開かれた市役所」というコンセプトは本当に必要なのでしょうか。「必要なことがあって、必要な人が行って、滞りなくその目的を果たせればよい」という気がします。

複合施設になり、関連した設備を整備するというなら理解できますが、伊達市の市役所は何を目指しているのかをしっかりと考え、役割を明確化することで、必要なものと必要ではないものを選別すべきだと思いますし、その方が市全体を考えたとき、効率的な建物になるのではないのでしょうか。

**委員 I**：どこの市も地域の特徴を出しているなど感じました。地元の建築資材などを庁舎に利用することで、来庁した方への認知度を高めることも大事ではないかと思っています。

### 3 その他

**事務局**：庁舎の話ではありませんが、新図書館の建設費が当初 6 億円としていたにも関わらず、人件費や建築費の高騰により 10 億円、備品込だと 12 億円かかるという報告がありました。

現在、委員会で素晴らしい議論をしていただいているところですが、こういった事情から皆様のご意見をどう実現させるかという財源の確保に苦慮しており、我々も知恵を絞って検討しているところであります。

そのため、先ほどのご説明にありましたとおおり、一旦 3 月で小休止させていただいて、財源の確保等にめどが付きましたら、再び皆様のご意見等をお伺いしたいと考えておりますので引き続きよろしくお願いたします。

### 4 閉 会

# 第4回伊達市庁舎整備検討委員会

---

日時:令和6年11月21日(木)16:30～  
場所:伊達市役所本庁舎3階  
第2、3会議室

伊達市総務部総務課

# 1 庁舎視察研修の結果報告

## 旭川市 ①

### <方針・コンセプト>

- ①市民に親しまれ、利用しやすい庁舎
- ②まちづくりの中心となる交流拠点庁舎
- ③機能的で効率的な庁舎
- ④災害に強い安心安全な庁舎
- ⑤人と環境に優しい庁舎

### <特色>

- ・市民が市役所に用事がなくても立ち寄って談笑したり、学生が勉強したり、オリンピックを大画面で視聴し、みんなで応援できるような空間づくり(9階展望ラウンジ、1階・2階のホールを開放)
- ・木材施工量の93%程度を市有林から調達。旭川家具を800点程度設置
- ・電気・ガス・水道停止後7日間業務遂行可能な防災機能
- ・窓口受付の整理券のQRコードにより、スマートフォンで待ち状況を確認可能
- ・太陽光発電設備、地中熱利用設備導入

令和5年度末人口 : 318,088人

竣工 : 令和5年8月

階層 : 地上9階、地下1階

建築費 : 139億5,000万円

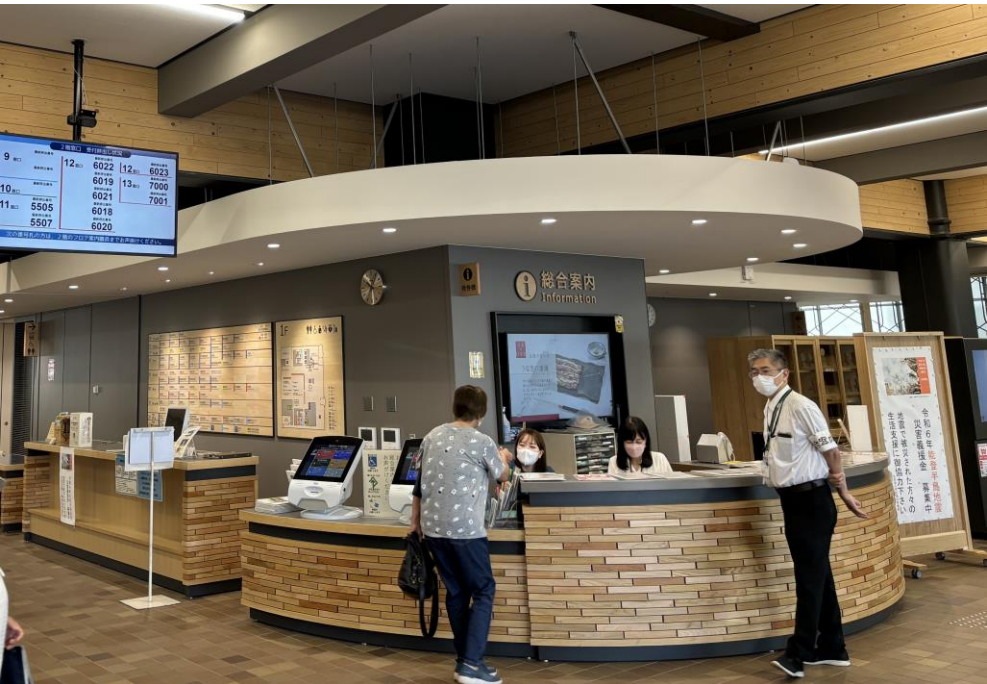
延床面積 : 24,699㎡(565千円/㎡)



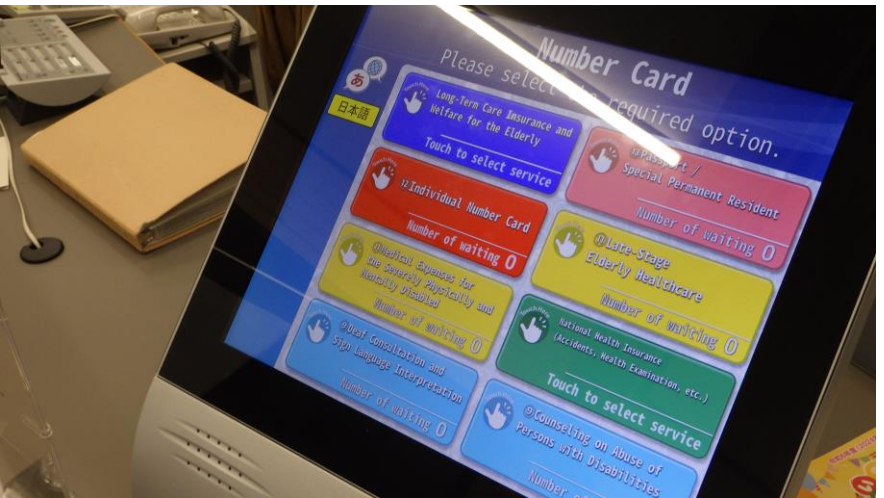
# 1 庁舎視察研修の結果報告

旭川市 ②

総合案内、整理券発行機



多言語対応の案内タッチパネル



部署名ではなく用途別の案内



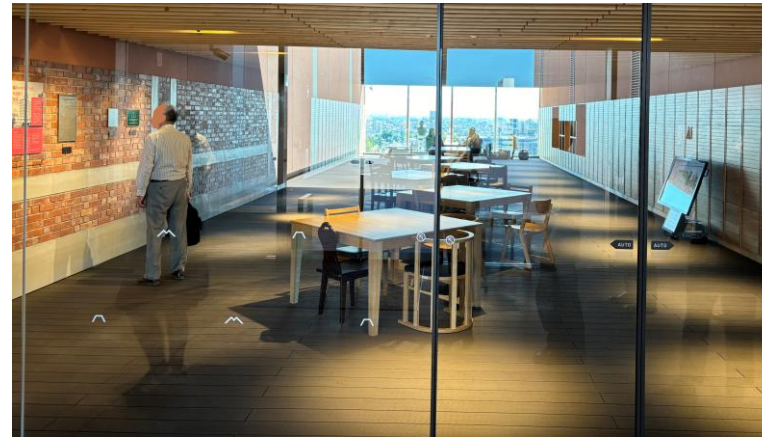
# 1 庁舎視察研修の結果報告

## 旭川市 ③

### 情報コーナー



### 展望広場・展望ラウンジ



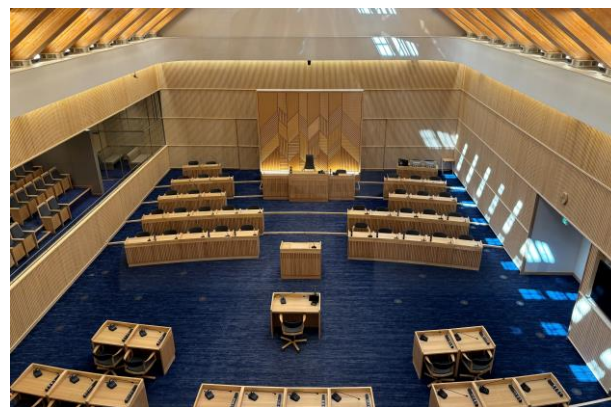
### 売店



### キッズスペース



### 議場



### 執務室空調システム



# 1 庁舎視察研修の結果報告

## 深川市 ①

### <方針・コンセプト>

- ①市民に親しまれ利用しやすい庁舎
- ②市民の安心・安全を守る災害に強い庁舎
- ③人と環境にやさしい庁舎
- ④効率的で安全な庁舎

### <特色>

- ・深川産シラカバを各所に使用。
- ・市民が利用できる1階多目的スペースに太陽光発電設備から給電できるコンセントを整備。思いやり駐車場及び車寄せから庁舎までのひさしを整備
- ・洪水警戒区域にあることから、庁舎内の会議室に来庁者の一時滞留所と、庁舎敷地には市民の一時避難として利用できるイベント広場を確保
- ・議場の机等も可搬型とし、議会以外の用途にも使用できるよう整備
- ・太陽光発電設備、地中熱利用設備導入

令和5年度末人口：18,445人

竣工：令和5年5月

階層：地上4階

建築費：37億6,262万円

延床面積：6,515㎡(578千円/㎡)



# 1 庁舎視察研修の結果報告

## 深川市 ②

総合案内、整理券発行機



相談室を備えた1階フロア



1階 売店



情報コーナー



議場



防災備蓄庫、可動式書庫、給電コンセント



# 1 庁舎視察研修の結果報告

## 富良野市 ①

### <方針・コンセプト>

- ①防災拠点機能を発揮できる災害に強い庁舎
- ②市民が利用しやすい庁舎
- ③人や環境にやさしい庁舎
- ④機能性・効率性・経済性を重視した庁舎
- ⑤市民が気軽に訪れて親しみやすい庁舎

### <特色>

- ・浸水想定区地域であるため、床をかさ上げ
- ・文化会館と庁舎の複合化を行っていることから、1階の会議室は飲食を伴う行事でも利用できるよう配慮
- ・太陽光発電設備はないものの、執務室の天井を低くし、天井をすのこ状にすることでコストカットと火災が発生した際に煙の吸い込みを抑えるといった工夫を実施
- ・親しみを持ってもらえるよう、市民公募と投票により施設や交流スペースの愛称を決定
- ・地中熱利用設備導入

令和5年度末人口 : 19,639人

竣工 : 令和4年5月

階層 : 地上4階

建築費 : 28億8,000万円

延床面積 : 5,389㎡(534千円/㎡)



# 1 庁舎視察研修の結果報告

## 富良野市 ②

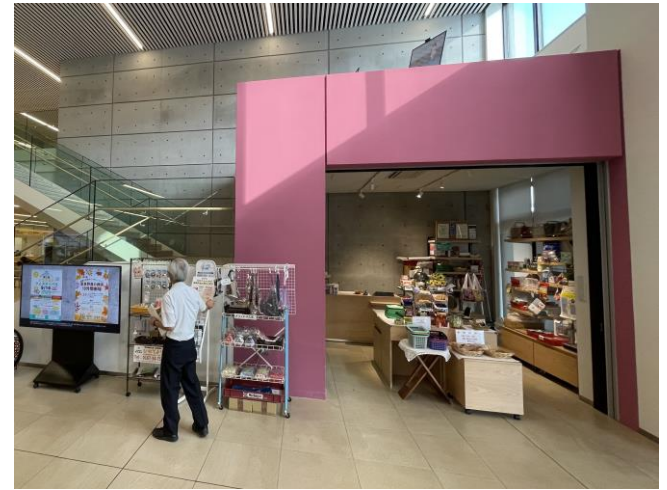
総合案内、箕の子状の天井



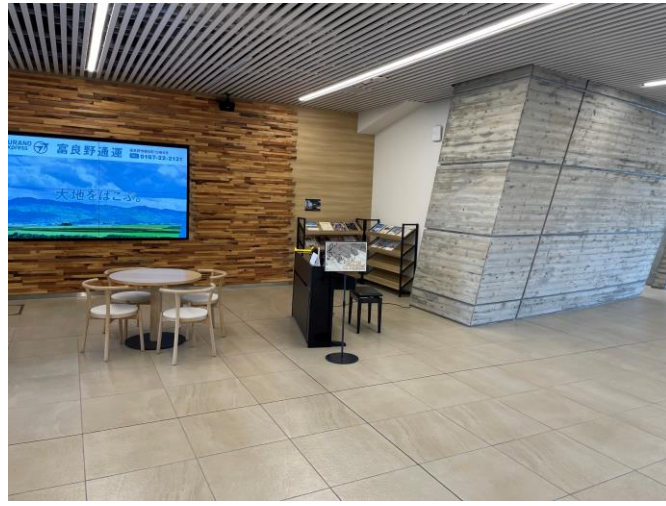
キッズスペース



売店



情報コーナー



議場



市民も利用できる飲食可の会議室



## 2 前回の振り返り①

市長から庁舎整備検討委員会委員長へ提出された諮問書に対する残り2つの項目について審議

諮 問 書（令和5年11月28日提出）

伊達市庁舎整備検討委員会委員長 様

伊達市長 堀 井 敬 太

伊達市庁舎整備検討委員会条例第2条の規定に基づき、下記の事項を諮問いたします。

### 1 諮問事項

(1) 庁舎の整備方法について（建替えか改修か）

→令和6年3月21日に中間答申

(2) 市役所に求められる機能について

(3) その他、庁舎整備に関することについて

→最終答申に向けて審議

## 2 前回の振り返り②

新庁舎の考え方の「骨格」となる基本構想策定にあたり、諮問書の「市役所に求められる機能」、「庁舎整備に関することについて」を通し、主に下記の朱字の項目について審議しました。

### ▼伊達市庁舎建設基本構想 項目(案)

第1章 基本構想策定の趣旨

第2章 現庁舎の現状と課題

第3章 新庁舎建設に向けた基本的な考え方

第4章 新庁舎の機能と規模

4-1 新庁舎に求められる機能

4-2 新庁舎の規模

第5章 新庁舎の建設場所

第6章 新庁舎の事業手法

6-1 事業手法

6-2 事業スケジュール

6-3 概算事業費

6-4 想定する財源



## 2 前回の振り返り③

### ■委員会(令和6年5月20日開催)の主な意見

建設場所については、新たにまとまった土地を確保することが困難との事務局説明に概ね理解が得られた。

#### ◎新庁舎に求められる機能

##### 使いやすい庁舎

- ・伊達市がどういうところかわかるような位置づけにすること(地域情報の発信拠点)
- ・障がい者への配慮や外国人にもわかりやすい案内
- ・個別スペース等でプライバシーに配慮しながら、カウンターで待たせない仕組み
- ・DX推進と高齢化のバランスをとり、利用しやすいものにする
- ・利便性、収益性の面から食堂や喫茶店等のテナント活用も検討

##### 働きやすい庁舎

- ・適切な温度管理による行政サービスの効率性向上。

#### ◎その他、庁舎整備に関することについて

##### 建物全般

- ・分散化による防災機能の強化も検討
- ・目的や役割がはっきりした機能を検討すること
- ・定期的なメンテナンスができる体制
- ・会議室や書庫などを可動式にした空間づくり

##### 進め方

- ・より多くの市民から意見をきき、納得するかたちですすめること
- ・若い職員の意見もしっかり取り入れること。

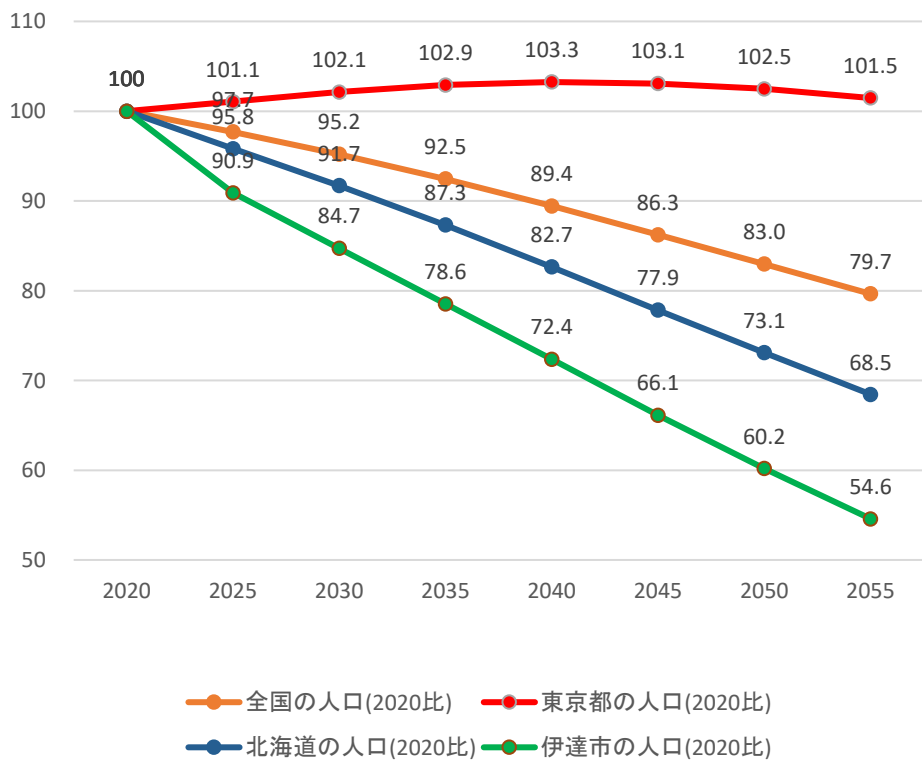
# 3 庁舎整備にあたり伊達市が抱える懸念事項①

## ■ 人口推移について

社会保障人口問題研究所の「日本の地域別将来推計人口」によると、伊達市の人口は、2035年度に2020年度比で21.4%減の25,786人となる。2045年度には33.9%減の21,709人となる。

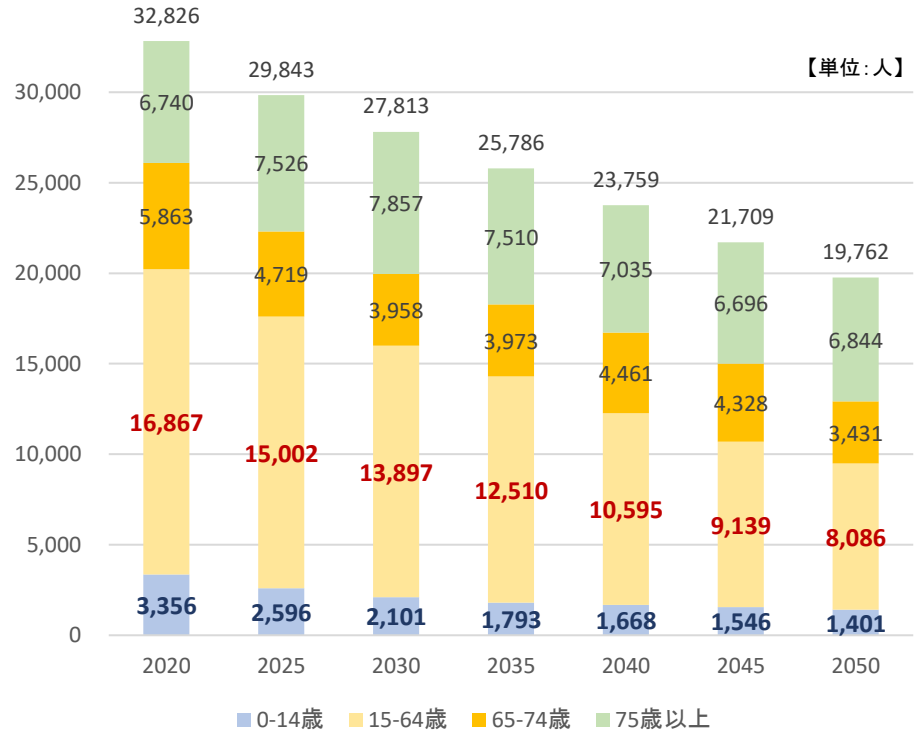
2020年度比の人口推移

出典: 国立社会保障・人口問題研究所  
「日本の地域別将来推計人口」



伊達市の年齢別人口推移

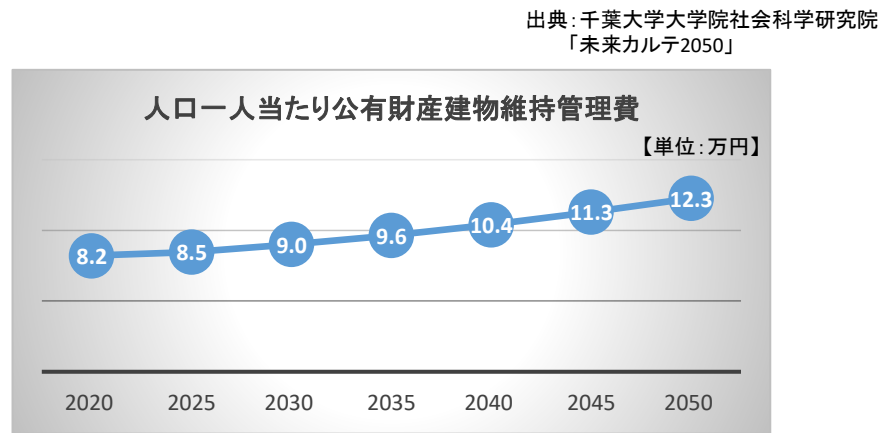
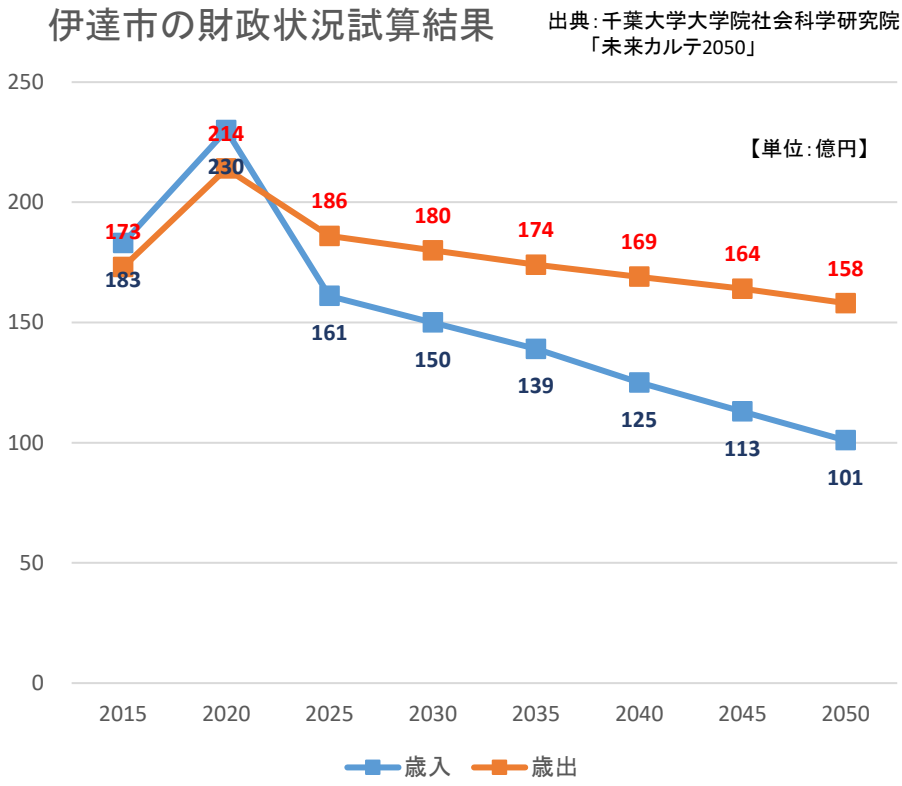
出典: 国立社会保障・人口問題研究所  
「日本の地域別将来推計人口」



### 3 庁舎整備にあたり伊達市が抱える懸念事項②

#### ■ 財政状況の推移について

千葉大学大学院社会科学研究院が社会保障人口問題研究所の人口予測及び2020年国勢調査等の統計データ類を基に作成した「未来カルテ2050」によるシミュレートでは、伊達市の財政収支は将来悪化するとともに、一人当たりの公有財産建物維持管理費は増加するとの結果となっている。



**【注意】 人口予測等に基づき全国一律の基準でシミュレートしていることから、実態と必ずしも一致するわけではありません。**